

様式第 2 3 号（第 5 条関係）

令和 7 年 3 月 31 日

笠岡市長 殿

所 在 地	笠岡市今立30
協 議 会 名	今井地区まちづくり協議会
協 議 会 長 名	会長 小林正男

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）
変更申請書（兼）実績報告書

令和 6 年 4 月 1 日付け笠岡市指令協第 255 号で交付決定を受けた交付金について、次のとおり交付額の変更を申請します。併せて、次のとおり活動が完了したので、笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第 5 条の規定により関係書類を添えて報告します。

記

- 1 変更交付申請額 491,210 円
(交付金決算額)

〔内訳〕

(単位：円)

交付決定額 ①	変更交付申請額（交付金決算額）		返還額 ④
	当該年度支出額 ②	次年度繰越額 ③	
534,000	310,971	180,239	42,790

- 2 交付金が減額変更になった理由

経費削減に努めたため。

【添付書類】

- 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書（様式第 2 4 号）
- 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書
(様式第 2 5 号又は様式第 2 5 号の 1)
- 支払書類（レシート等）の原本（活動ごとに取りまとめたもの）
- 事業の実施状況がわかる写真及び成果品
- その他参考となる書類

様式第 2 4 号（第 5 条関係）

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 今井地区まちづくり協議会

活動No	1
活動名	ジビエによる地域活性化事業（ジビエのわっか）
前年からの繰越金	●あり ○なし

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	当地で捕獲したイノシシの尊い命を地域資源として有効に活用し地域を元気にする。
【効果】	ジビエの普及を務め、需要を広めていくことは、ジビエは商品化されビジネスとして持続的活動に繋がり、また、獣害駆除への関心度は高まり、地域は、より豊かな生活することになる。

2 実施期間

令和 6 年 4 月 1 日 ～ 令和 7 年 3 月 31 日
(計画期間 3 年中 2 年目)

3 実施場所

今井地区でイノシシの捕獲を行った。そして、ジビエを活用して今井地区まちづくり協議会事務所で「今井夏収穫祭」、旧今井小学校で「備中県民局大学生ハンズオン支援事業」を行った。また、ジビエ産業の調査に吉備中央町「加茂川有害獣利用促進協議会」を視察した。（今井すまいるだより 30 号・31 号・臨時号参照願います）

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 690 人（ア＋イ）
（内訳）企画運営に関わった人数： 330 人（ア）
その他関係人数（当日参加者等）： 360 人（イ）
○団体： （団体名） 今井イノコミプロジェクト , （団体名） 今井うまいや
（団体名） 大学生ハンズオン支援事業 , （団体名） 岡山県立笠岡商業高校

5 実施内容

今井イノコミプロジェクトにて捕獲したイノシシをツールにして世代間交流を前面にだした「今井夏収穫祭」「岡山備中県民局大学生ハンズオン支援事業」を実施し、まちづくり活動の啓蒙・啓発活動。そして、笠岡市地域資源の有効利用を目指し「加茂川有害獣促進協議会」を視察し、ジビエ産業の実態を知ることができた。（資料①、資料②、資料③添付）しかし、非狩猟期における異常な暑さ、8 月笠岡市内におけるイノシシの豚熱確認はジビエ利活用のブレーキとなり十分な食肉処理ができなかった。

6 決算額

111,913 円（うち交付金分 111,913 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	今年度、大学生・高校生・中学生・小学生を前面にだした世代間交流を目的としたジビエ利活用の取り組みは、目的である「地域を元気にする」にきっかけを作ることができた。また、イノシシの豚熱が広がるなか、ジビエを広めていくために、新たな作業手順として検査機関を確保することができた。
【課題】	今年度、新たな手順で確保したジビエにて世代間交流事業を企画することである。

様式第 2 5 号の 1 （第 5 条関係）

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 今井地区まちづくり協議会

活動No	1
活動名	ジビエによる地域活性化事業（ジビエのわっか）

【収入の部】 (単位：円)

区 分	予算額 (Ⅰ)	決算額 (Ⅱ)	差引	摘 要
市交付金	① 258,567	258,567	0	当該年度分
	⑤ 30,433	⑥ 30,433	0	前年度からの繰越分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
計	289,000	289,000	0	

【支出の部】 (単位：円)

区 分	予算額	決算額	差引	摘 要
報償費	5,000	5,000	0	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費	284,000	100,913	183,087	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料		6,000	△ 6,000	〃
備品購入費		0	0	〃
0		0	0	〃
0		0	0	〃
			0	
計	289,000	111,913	177,087	決算額のうち市交付金分 111,913

< 交付金内訳 >

		当該年度分		前年度からの繰越分	
予算	(Ⅰ)のうち	①	258,567	⑤	30,433
決算	(Ⅱ)のうち	②	81,480	⑥	30,433
余剰金		①－②	177,087	⑤－⑥	0
うち次年度繰越額		③	177,087	(次年度繰越額)	
うち返還額		④	0		

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 ジビエによる地域活性化事業（ジビエのわっか）

費目 報償費

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	6	9	4	運転手	加茂川有害獣視察運転手謝礼	5,000	5,000
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						5,000	

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 ジビエによる地域活性化事業（ジビエのわっか）

費目 使用料及び賃借料

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	6	7	16	徳永製麺所	アイスボックス使用料2台	1,000	1,000
2	6	9	4	NPO法人笠岡を元気にする会	マイクロバス車借上車両代	5,000	6,000
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						6,000	

自己評価シート

(令和 6 年度)

No. 1

協議会名	今井地区まちづくり協議会
活動名	ジビエによる地域活性化事業(ジビエのわっか)

活動目的	当地で捕獲したイノシシの尊い命を地域資源として有効に活用し地域を元気にする。
実施内容	今井イノコミプロジェクトにて捕獲したイノシシをツールにして世代間交流を前面にだした「今井夏収穫祭」「岡山備中県民局大学生ハンズオン支援事業」を実施し、まちづくり活動の啓蒙・啓発活動。そして、笠岡市地域資源の有効利用を目指し「加茂川有害獣促進協議会」を視察し、ジビエ産業の実態を知ることができた。(資料①、資料②、資料③添付) しかし、非狩猟期における異常な暑さ、8月笠岡市内におけるイノシシの豚熱確認はジビエ利活用のブレーキとなり十分な食肉処理ができなかった。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動の目的・効果を地域のみinnで共有することができたか。	3
	活動に参加するmininnで話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	3
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	3
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてmininnで話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	3
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をとおして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	3
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	3

※評価点について
 4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果 今年度、大学生・高校生・中学生・小学生を前面にだした世代間交流を目的としたジビエ利活用の取り組みは、目的である「地域を元気にする」にきっかけを作ることができた。また、イノシシの豚熱が広がるなか、ジビエを広めていくために、新たな作業手順として検査機関を確保することができた。	現状と課題 今年度、新たな手順で確保したジビエにて世代間交流事業を企画することである。
今後の活動の方向性・改善策 地域資源であるイノシシのジビエの認知度を高め産業化することである。	

様式第 2 4 号（第 5 条関係）

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 今井地区まちづくり協議会

活動N o	2
活 動 名	今井イノコミプロジェクト
前年からの繰越金	☐ あり ☒ なし

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	2021年度から始めた当活動は、今井全域までは浸透することは出来なかった。しかし、獣害被害は増大していくと考えられる。よって、2024年度も捕獲活動を継続するために狩猟免許必要経費を申請する。
【効果】	イノシシの出没減少と獣害被害に対する地区住民の意識改革。

2 実施期間

令和 6 年 4 月 1 日 ～ 令和 7 年 3 月 31 日
(計画期間 年中 年目)

3 実施場所

今井地区内、園井地区、今立地区、馬飼地区にて捕獲作業する。

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 210 人（ア＋イ）
（内訳）企画運営に関わった人数： 210 人（ア）
その他関係人数（当日参加者等）： 人（イ）
○団 体： （団体名） 今井イノコミプロジェクト , （団体名）
（団体名） , （団体名）

5 実施内容

会員17名にて毎月例会を開き、情報を共有するなか、指定地区にてイノシシ捕獲作業を行う。また、その様子を、まちづくり広報紙として地域各戸に配布し、周知活動する。

6 決算額

54,210 円（うち交付金分 54,210 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	今年度、会員17名でスタートしたが途中より新たに2名の参加があり、最終的に19名の会員となった。内1名は箱わな狩猟免許を持っており、地域住民組織馬飼班の捕獲従事者にて登録した。本年度イノシシ捕獲数は2月末にて54頭、昨年度同時期より10頭少ない。活動を知っていただくため、大学生ハンズオン支援事業にて捕獲したイノシシのジビエ試食を行い、児童たちに啓蒙・啓発活動をおこなった。（今井すまいるだより令和6年8月25日発行臨時号参照願います）」
【課題】	2025年度より自主財源にて運営を行うが、活動の目的をより明確にしていかなければならない。

様式第 2 5 号（第 5 条関係）

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 今井地区まちづくり協議会

活動No	2
活動名	今井イノコミプロジェクト

【収入の部】 (単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
市交付金	① 97,000	97,000	0	当該年度分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
計	97,000	97,000	0	

【支出の部】 (単位：円)

費目	予算額	決算額	差引	摘要
報償費		0	0	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費		0	0	〃
役務費	64,000	48,710	15,290	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費		0	0	〃
公課費	33,000	5,500	27,500	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	97,000	54,210	42,790	決算額のうち市交付金分 ② 54,210

市交付金の余剰金 ①－② 42,790 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 0 円 返還額 ④ 42,790 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

出 納 簿

交付金区分

活動交付金

活動名

今井イノコミプロジェクト

費目

役務費

手数料

No.

1

↑ドロップダウンリストから選んでください。

[illegible]

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 今井イノコミプロジェクト

費目 公課費

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	6	1	20	地域総務課	狩猟税	5,500	5,500
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						5,500	

自己評価シート
(令和 6 年度)

No. 2

協議会名	今井地区まちづくり協議会
活動名	今井イノミプロジェクト

活動目的	2021年度から始めた当活動は、今井全域までは浸透することは出来なかった。しかし、獣害被害は増大していくと考えられる。よって、2024年度も捕獲活動を継続するために狩猟免許必要経費を申請する。
実施内容	会員17名にて毎月例会を開き、情報を共有するなか、指定地区にてイノシシ捕獲作業を行う。また、その様子を、まちづくり広報紙として地域各戸に配布し、周知活動する。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動の目的・効果を地域の人々で共有することができたか。	3
	活動に参加する人々で話し合い活動計画を立てることができたか。	4
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	4
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	4
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	4
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	3
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題について人々で話し合うことができたか。	4
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	3
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をととして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	4
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	3

※評価点について
4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
今年度、会員17名でスタートしたが途中より新たに2名の参加があり、最終的に19名の会員となった。内1名は箱わな狩猟免許を持っており、地域住民組織馬飼班の捕獲従事者にて登録した。本年度イノシシ捕獲数は2月末にて54頭、昨年度同時期より10頭少ない。活動を知っていたため、大学生ハンズオン支援事業にて捕獲したイノシシのジビエ試食を行い、児童たちに啓蒙・啓発活動をおこなった。(今井すまいるだより令和6年8月25日発行臨時号参照願います)	2025年度より自主財源にて運営を行うが、活動の目的をより明確にしていかなければならない。
今後の活動の方向性・改善策 獣害駆除を通して地域コミュニケーションを深めていこうという想いで始めた当事業は、自主財源にて運営をする段階になった。現状にあった新たな目的を掲げる必要がある。	

様式第 2 4 号（第 5 条関係）

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 今井地区まちづくり協議会

活動N o	3
活 動 名	にこにこ農園（いつまでも住み続けたいと思うまち）
前年からの繰越金	☐ あり ☒ なし

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	今井小学校が長い歴史を残して廃校となり、あれから1年が過ぎていこうとしています。静かで寂しくなった地区に、みんなで花を育てて、ふらふらと集まって、楽しい会話を始められる場所をつくる。
【効果】	地区の皆さんが集まり、会話することで仲間が増えて、より活力のある町になる。

2 実施期間

令和 6 年 4 月 1 日 ～ 令和 7 年 3 月 31 日
(計画期間 3 年中 1 年目)

3 実施場所

①旧今井小学校前の休耕地 ②園井南地区の今立川沿いの休耕地 ③県道60号線を笠岡に向かう場所 ④その他
今井公民館・今井地区まちづくり協議会事務所

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 289 人（ア＋イ）
（内訳）企画運営に関わった人数： 12 人（ア）
その他関係人数（当日参加者等）： 277 人（イ）
○団 体： （団体名） にこにこ農園部会員 ， （団体名） 今井うまいや
（団体名） 広報部会有志 ， （団体名）

5 実施内容

2024年度で定例会の開催を12回行いました。にこにこ農園の実作業としまして植え付け・草取り・収穫作業で18回集まって作業を行いました。またイベントでは新見市の指導者をお願いしてのパパイアの植え付けの指導を頂きました。そのほかコキアのパーツづくり、夏収穫祭での鉢の塗り絵、ハンズオンでは地元の人たちと福島に向けてのメッセージボード作り等色々な場面で参加させていただきました

6 決算額

144,848 円（うち交付金分 144,848 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	メンバーは暑いときも、寒いときも、農園の維持管理に積極的に参加していただきました。みんな協力的で楽しく活動することができました。また農園を見に来られる方も多く見うけられて会話の中で、”楽しみに見させていただいてます”と幾度となく声かけしていただきました。
【課題】	活動が1年過ぎました。まだ手探りの状況なので計画を立てても計画通りに進むことがありませんでした。いつもぎりぎりになって連絡をする為参加される方も予定を立てにくかったです。今後は今年の実績を元に活動計画を作成してメンバーが参加しやすくすることが必要です。

様式第 2 5 号（第 5 条関係）

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 今井地区まちづくり協議会

活動No	3
活動名	にこにこ農園（いつまでも住み続けたいと思うまち）

【収入の部】 (単位：円)

費 目	予算額	決算額	差引	摘 要
市交付金	① 148,000	148,000	0	当該年度分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
計	148,000	148,000	0	

【支出の部】 (単位：円)

費 目	予算額	決算額	差引	摘 要
報償費		0	0	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費	128,000	138,422	△ 10,422	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料	10,000	0	10,000	〃
備品購入費		0	0	〃
燃料費	10,000	6,426	3,574	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	148,000	144,848	3,152	決算額のうち市交付金分 ② 144,848

市交付金の余剰金 ①－② 3,152 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 3,152 円 返還額 ④ 0 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

[illegible]

活動交付金

にこにこ農園（いつまでも住み続けたいと思うまち）

0

2

[illegible]

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 にここ農園（いつまでも住み続けたいと思うまち）

費目	需用費	印刷製本費
----	-----	-------

No. 1 ↑ドロップダウンリスト
から選んでください。

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	6	12	3	T-port	帽子プリント代	19,800	19,800
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						19,800	

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 にここ農園（いつまでも住み続けたいと思うまち）

費目 燃料費

No. 1

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	6	8	6	スタンドワン	ガソリン代(給水ポンプ用)	1,610	1,610
2		12	9	内海(株)	発電機燃料費	1,000	2,610
3		12	12	スタンドワン	ガソリン代 10ℓ	1,660	4,270
4	7	2	10	スタンドワン	混合油	2,156	6,426
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						6,426	

自己評価シート

(令和 6 年度)

No. 3

協議会名	今井地区まちづくり協議会
活動名	にこにこ農園(いつまでも住み続けたいと思うまち)

活動目的	今井小学校が長い歴史を残して廃校となり、あれから1年が過ぎていこうとしています。静かで寂しくなった地区に、みんなで花を育てて、ふらふらと集まって、楽しい会話を始められる場所をつくる。
実施内容	2024年度で定例会の開催を12回行いました。にこにこ農園の実作業としまして植え付け・草取り・収穫作業で18回集まって作業を行いました。またイベントでは新見市の指導者をお願いしてのパパイアの植え付けの指導を頂きました。そのほかコキアのパーツづくり、夏収穫祭での鉢の塗り絵、ハンズオンでは地元の人たちと福島に向けてのメッセージボード作り等色んな場面で参加させていただきました

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動の目的・効果を地域の人みんなで共有することができたか。	3
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	3
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	2
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	3
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	3
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	4
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	4
	活動をととして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	4
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	3

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
メンバーは暑いときも、寒いときも、農園の維持管理に積極的に参加していただきました。みんな協力的で楽しく活動することができました。 また農園を見に来られる方も多く見うけられて会話の中で、”楽しみに見させていだいてます”と幾度となく声かけしていただきました。	活動が1年過ぎました。まだ手探りの状況なので計画を立てても計画通りに進むことがありませんでした。いつもぎりぎりになって連絡をする為参加される方も予定を立てにくかったです。今後は今年の実績を元に活動計画を作成してメンバーが参加しやすくする必要があります。
今後の活動の方向性・改善策	
今まで計画通り進むことが少なく参加者は予定が立てにくかったと思います。これからは今年の実績を分析して計画に沿って進められるようにしていきます。またせっかく花を種から育てているので地元の方に種・苗の配布、販売を増やすことによって活動を広げていきます。休耕地対策で地域を限定して草刈りを進めています。この活動の継続と草刈り後の跡地利用についても少しづつ考えていきます。	